

# 我が国畜産における構造改革の進展状況 と経営体質強化に向けての課題

平成16年10月  
農林水産省  
生産局畜産部

# 1 我が国畜産経営における構造改革の進展状況

各畜種とも飼養規模の拡大は急速なテンポで進展。酪農においては、先進国であるEUを上回る規模を実現。

農業粗生産額に占める主業農家の生産割合のほか、認定農業者の認定率、法人化率、60歳未満の経営主の割合についても、他作目と比べて高い。

農家1戸当たりの平均経営規模の推移

	平成5年	平成15年	15 / 5
酪農(頭)	40.5	57.1	1.4
肉専用種繁殖(頭)	4.4	7.6	1.7
肉専用種肥育(頭)	22.5	49.6	2.2
乳用種肥育(頭)	74.0	142.2	1.9
養豚(頭)	426	1,031	2.4
採卵鶏(千羽)	18.7	34.6	1.9
水稻(a)	77.4	85.5	1.1

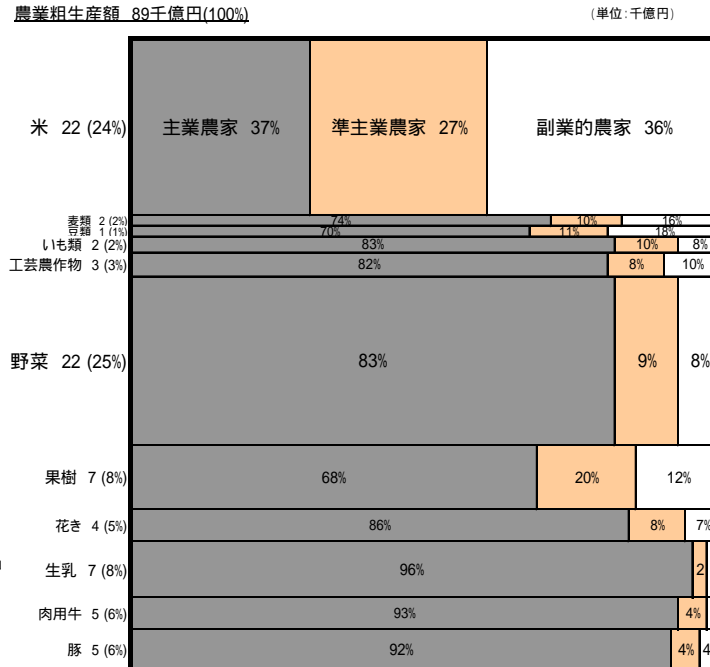
資料:「畜産統計」、「農業構造動態調査」、畜産企画課推計。

酪農経営規模の各国比較(2001年)

	日本	EU15カ国	米国
1戸当たり 経産牛頭数	35	29	94

資料:農林水産省「畜産統計」、EUROSTAT「Agriculture Statistical Yearbook」、USDA「Agricultural Statistics」

作物・畜種別にみた農業粗生産額の農家類型別シェア(平成14年)



資料:農林水産省「生産農業所得統計」、「2000年世界農林業センサス」、「農業経営動向統計」、「平成14年農業総産出額(概算)」

注1:主副業別シェアは、「2000年世界農林業センサス」、「農業経営動向統計」より推計。  
注2:粗生産額は概算額である。

営農類型別の認定農業者、法人経営の状況

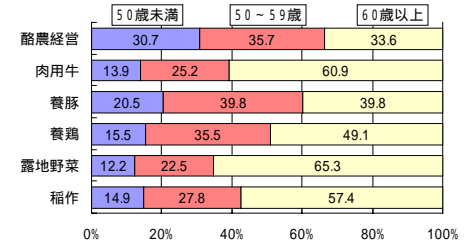
	認定農業者の割合 (%)	法人経営の割合 (%)
畜産	23.3	7.3
酪農	47.2	3.5
肉用牛	14.9	2.9
肉専用種繁殖	12.3	
肥育	30.5	
養豚	31.1	21.0
採卵鶏	30.6	25.2
稲作	1.6	0.1
野菜	15.5	1.3
果樹類	9.6	0.5

資料:認定農業者の割合は、「農業構造動態調査」、「農業経営の改善計画の営農類型別認定状況」、畜産は、畜産企画課調べ。法人経営の割合は、「2000年農業センサス」

注1:稲作、野菜、果樹類の認定農家率は単一経営の状況。

注2:法人経営の割合は、単一経営における法人経営の割合。採卵鶏の欄は、養鶏(701羽-含む。)

農業経営組織別にみた年齢別農業経営者数割合(15年)



資料:「農業構造動態調査」  
注:単一経営での比較

## 2 生産コストの削減や省力化の推進による経営体質の強化

畜産においては、更なる規模拡大が必要なケースもあるものの、生産コストの削減や省力化の推進等経営体質強化のための施策を充実することが重要。

具体的には、低コスト化・ゆとり・省力化の観点から放牧による耕作放棄地や棚田・林地等の有効活用、コントラクター組織や公共牧場等を活用した飼料作物の生産供給の外部化や牛のほ育・育成の外部化、搾乳ロボットやほ乳ロボットを活用した省力化等の取組が必要。

